

化学で変わる 建設の未来
Chemistry and Construction

 西岡化建株式会社

2024年度

環境経営レポート

対象期間：2023年9月21日～2024年9月20日
発行：2024年10月25日



Environmental Management Report 2024

contents

西岡化建のあゆみ	P3
トップメッセージ	P4
環境経営方針・経営理念	P6
組織の概要と認証・登録の対象組織・活動	P7
環境経営システム	P8
主な環境負荷の実績 環境目標・実績	P9
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画	
● 電力による二酸化炭素排出量の削減	P10
● 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	P12
● 廃棄物排出量の削減	P13
● 水道水使用量の削減	P14
● PRTR 物質使用量の削減	P15
● 環境に配慮した工事の推進	P16
廃棄物の分別方法・社会貢献	P22
外国人の雇用・よりよい職場環境を目指して	P24
健康と環境保全	P25
今期の取り組み	P26
環境上の緊急事態への準備及び対応	P27
環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反、訴訟等の有無	P27
生物多様性の保全活動	
● NISHIOKA FARM 無農薬有機栽培野菜	P28
● 緑化活動 花の育成と植樹祭の参加	P29
環境経営活動の総括	P30

西岡化建の
取り組みを
ご覧ください



当社におけるSDG s の関連項目

1 貧困をなくそう	P22
2 飢餓をゼロに	P22
3 持続可能な開発目標を達成しよう	P12.P15.P18.P22.P25.P27
4 質の高い教育をみんなに	P22.P24.P27.P29
5 女性への平等を達成しよう	P25
6 清潔な水とトイレを世界中に	P14
7 再生可能エネルギーを拡大しよう	P10~P12
8 働きがいも経済成長も	P12
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	P11.P24.P27
10 人や国の不平等をなくそう	P25.P27
11 住み続けられるまちづくりを	P11~P13.P17.P18.P20.P22.P27.P29
12 つくる責任 つかう責任	P13~P18.P20.P22
13 気候変動に具体的な対策を	P11.P12.P27.P29
14 海の豊かさを守ろう	P14
15 陸の豊かさも守ろう	P29
16 平和と公正をすべての人に	P22.P26
17 パートナーシップで目標を達成しよう	P18.P22.P26

西岡化建のあゆみ

エコアクション21を認証・登録してから **13年** 経過しました！

- 1975年 10月 茨木市に西岡化建工業所 創業
- 1978年 10月 法人組織に改め、資本金 200 万円にて会社設立
商号を西岡化建株式会社に変更
- 1982年 3月 摂津営業所及び資材倉庫設置
- 1992年 3月 資本金 1,000 万円に増資
- 2002年 3月 摂津営業所及び資材倉庫を茨木本社近隣に
移転し、茨木事業所とする
- 2007年 1月 新社屋完成
- 2011年 12月 **環境経営システム エコアクション21 認証取得**
- 2015年 3月 2号倉庫完成
- 2016年 2月 第19回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
- 2016年 3月 資本金 2,000 万円に増資
- 2017年 2月 第20回 環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞受賞
- 2018年 2月 中小企業家同友会全国協議会 2017 年度 同友エコ大賞受賞
- 2018年 3月 なにわエコ会議主催 CO2 削減コンペ 創意工夫賞受賞
- 2019年 2月 第22回 環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 優良賞受賞
- 2019年 2月 中小企業家同友会全国協議会 2018 年度 同友エコ奨励賞受賞
- 2020年 2月 新社屋完成
- 2020年 8月 代表取締役会長に西岡勝男 就任
代表取締役社長に西岡若菜 就任
- 2021年 2月 第24回 環境コミュニケーション大賞
環境経営レポート部門 大賞（環境大臣賞）受賞
- 2021年 3月 なにわエコ会議 2020 年度 CO2 削減・プラスチックごみ削減
コンペ 優良賞受賞
- 2021年 6月 中小企業家同友会全国協議会
2020 年度同友エコ大賞（会長賞）受賞
- 2022年 1月 エコアクション21 オブザイヤー 2021 銀賞受賞
- 2022年 3月 なにわエコ会議 2021 年度 CO2 削減・プラスチックごみ削減
コンペ 優秀賞受賞
- 2022年 7月 中小企業家同友会全国協議会 2021 年度 同友エコ奨励賞受賞
- 2023年 3月 なにわエコ会議 2022 年度 CO2 削減・プラスチックごみ削減
コンペ プラスチックごみ削減努力賞受賞
- 2023年 3月 エコアクション21 オブザイヤー 2022 銅賞受賞
- 2023年 8月 中小企業家同友会全国協議会 2022 年度 同友エコ奨励賞受賞
- 2024年 6月 中小企業家同友会全国協議会 2023 年度 同友エコ奨励賞受賞



再生可能エネルギーへのシフトに協働、 防食加工の技術革新を目指す。

2024年10月25日
西岡化建株式会社
代表取締役会長 西岡勝男



46期の決算を終えて、来年2025年の10月に弊社は創業50周年を迎えます。1975年西岡化建工業所個人創業から3年を経て1978年に法人設立。これまでの弊社の特長や社会における位置、必要性に伴い開発してきた技術などを振り返る機会を得ました。47期末には50年の集大成となるべく経営理念や環境方針に添った環境経営が出来たと社員一同納得できる一年を過ごしたいと思えます。

弊社は原材料の石油から精製される合成樹脂を材料として、防水工事をメインに塗床工事や止水工事などを手掛けてきました。1973年第4次中東戦争のあおりを受けた第一次オイルショックの時には国際原油価格が4倍に高騰し、世界経済は混乱に陥りました。続く1978年には第二次オイルショックが起き再び原油価格は3倍近く高騰。仕入価格が安定しない不穏な経済状況の中でのスタートでした。

合成樹脂の性能は防水止水に必須であり、ビルの屋上、外壁の防水工事やトンネル内の止水工事に使用、また崩れやすい躯体の長命保存に注入工事などで提供します。広島原爆ドームの壁が崩れ落ちる前に透明の合成樹脂を注入し、歴史的遺産として保存するための工事には創業前に参画いたしました。それが切っ掛けとなり50年に渡りこの業界、業務に従事してきました。

弊社の業務内容には防食工事がありますが、これは強酸、強アルカリなどの蝕みから躯体を守るための工事であり、近年は多様な用途に広がっております。耐熱性や耐荷重性をもった強化ガラス繊維を作業工程に使用したFRPライニング工事やウレタンFRP複合防水工事などはメーカー研究室とのコラボレーションでその技術、性能性を高めてきました。海水に浸食されないFRPライニング工事を施した鋼管は名古屋港拡大の工事の杭打ちとして使われました。

現在、下水処理場の施設に変わる巨大なバイオマス発電所の設置に伴い、鋼鉄製ドームの内側へ防食工事を施す仕事に参画しております。汚水からメタンガスを発生させ、バイオマス発電所の燃料となる消化ガスを作るとき、一緒に発生してしまう硫化水素が鋼鉄を蝕むのを防ぐための防食工事を弊社にて施工しております。消化ガスは燃料となりエネルギーシフトの電力を作ります。水分は海に流せるレベルまで浄化し、固形物はコンポストとなるなど一石三鳥の役割を持つと共に、バイオマス発電所が老朽化した場合には鋼鉄の設備のリサイクルが可能です。石油系材料に係りながら、CO2削減のための設備を作る、次の世代へ持続可能な設備の設置に係れることに企業として誇りを持ち、これからもこうした環境保全に対応する仕事を続けていきたいと思えます。

持続可能な社会の構築に 貢献する技術を磨き続けます。

2024年10月25日
西岡化建株式会社
代表取締役社長 西岡 若菜



私達は建築改修工事を通じて、持続可能な社会の構築を目指してきました。主な事業内容である防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事、躯体補修工事などは、いずれも建築物を水や腐食、自然環境や生産活動による劣化・損傷から守る工事であります。定期的な修繕をすることで建築物や社会インフラの長寿命化、ライフサイクルコストの低減が可能となります。これまでも改修工事を通じて、SDGsの目標「住み続けられるまちづくりを」「産業と技術革新の基盤をつくろう」実現することを目指してまいりました。中でも当社の主要事業である、バイオガスプラントにおけるメタン発酵槽の内面防食工事、下水処理施設や廃棄物処理施設における重防食工事は、当社が長年培ってきた施工技術と新しい技術が生かされ、これらの環境目標達成やエネルギーシフト、環境保全に大きく貢献してきたと自負しております。

来年2025年は創業50周年という記念の年になります。創業者である会長が50年にわたって培ってきた施工技術を、次の世代に継承すること、これからの50年を社員一丸となって作り上げていくことを目指します。建設業においては、労働人口が減少し、技術者の高齢化、若年労働者の減少が問題となっています。技術者の高齢化や人手不足は当社においても他人事ではなく、長年積み上げてきた施工技術を次の若い世代に継承することが喫緊の課題であります。エイジフレンドリー、ジェンダー平等、人種差別の撤廃など、人権尊重の労働環境をつくるのが、SDGsを達成しながら当社の課題を解決することにもつながります。人手不足が今後解消されることは無い中で、機械化や技術革新による労働生産性の向上も大きな課題となります。そして、機械化や技術革新による生産性向上は、エネルギーの削減、環境負荷の低減にもつながり、労働環境改善が環境保全にもつながっていくのです。

これからも社員と共に、技術研鑽を怠らず、誰に対しても安全で平等な労働環境づくりのために一層努力いたします。今後とも環境経営に真摯に取り組んでまいります。

環境経営方針・経営理念

環境経営理念

西岡化建株式会社は、本業である建設工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に全社員とともに自主的・積極的に継続的改善に取り組みます。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の削減とリサイクルと適正処理を推進します。
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します。
5. 水性材料の使用により、溶剤の使用量および揮発量の低減に努めます。
6. 特定化学物質を含有しない防水材の使用により、環境負荷低減への取り組みをします。
7. グリーン購入やグリーン調達に努力します。
8. 地域の環境活動（資源ごみ回収）に積極的に参加します。
9. 省エネ、エコに繋がる工法を提案し、活動に取り組みます。
10. 気候変動への適応策として、地域社会の強靱化に貢献します。
11. 営業力強化を行いインフラの長寿命化を促進することによって企業価値向上に努めます。

この環境方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。

改定日：2023年10月25日

制定日：2010年10月25日

代表取締役社長 西岡 若菜

経営理念

一、技術の研鑽

私達は、研究開発精神にのっとり、優れた技術を提供し常にお客様の「ニーズ」に応える工事を遂行します。

一、環境の改善

私達は、製造現場における環境改善と、生活環境の向上を提言し、社会から信頼される企業を目指します。

一、より良い工事と共育ち

より良い工事をモットーに、西岡化建は共に働き、共に育ち、社会に貢献する事を目指します。

組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

組織の概要

- 事業者名** 西岡化建株式会社
代表名 代表取締役会長 西岡 勝男
 代表取締役社長 西岡 若菜
- 所在地** 本社・資材倉庫 大阪府茨木市郡5丁目21番16号
- 環境管理責任者** 専務取締役 西岡 洋子
環境事務局 営業部 小山 さら 前田 祐里
連絡先 TEL 072-643-1125 FAX 072-643-1127
 E-mail info@nishiokakaken.com
 URL http://www.nishiokakaken.com
- 事業内容** 防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事、左官工事、屋根工事
 建設業許可番号：大阪府知事許可（般-3）第51113号
 許可業種：建築工事業・防水工事業・塗装工事業・内装仕上工事業
 左官工事業・屋根工事業
- 資本金** 2,000万円
売上高 3億1,500万円
 (46期2024年9月実績)
主要工事完成高 250件
- 事業年度** 9月21日～翌年9月20日



	本社	資材倉庫	合計
従業員数	30人		30人
延床面積	467㎡	132㎡	599㎡

男性23名 女性7名 ※2024年9月20日時点

認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名** 西岡化建株式会社
 本社・資材倉庫

● 弊社の環境活動



環境に配慮した工事
(HACCP対応)



環境に配慮した工事
(TXフリー)



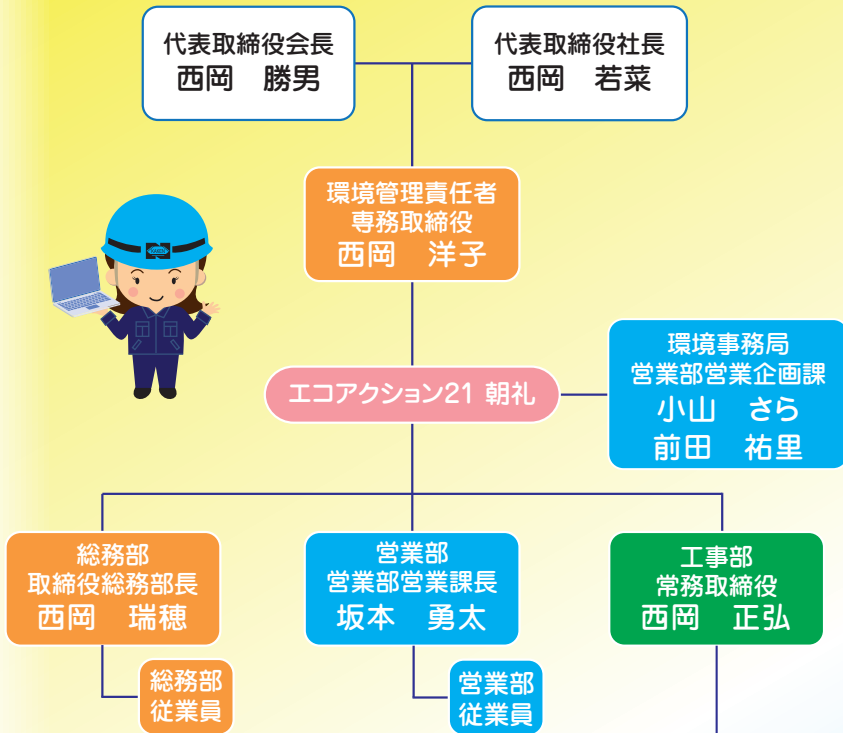
屋根に太陽光パネル
(82枚分)の設置



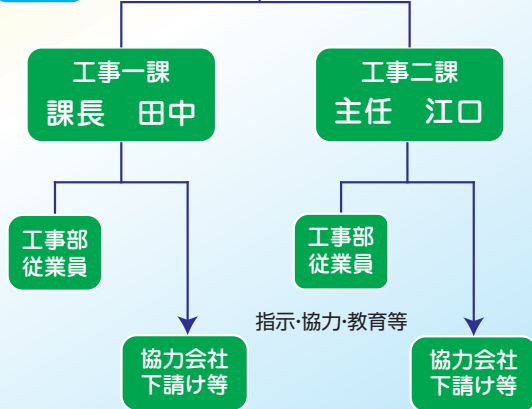
環境経営システム

更新日:2020年9月21日

本社・資材倉庫



建設現場



	役割・責任・権限
【代表者】 代表取締役会長 西岡 勝男 代表取締役社長 西岡 若菜	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
【環境管理責任者】 専務取締役 西岡 洋子	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
【環境事務局】 営業部営業企画課 小山 さら 前田 祐里	・環境管理責任者の補佐、EA21朝礼の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)

	役割・責任・権限
エコアクション21 朝礼	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・朝礼で目標項目の1項目ずつの評価と指示をする。 ・評価は担当者がする。指示は管理責任者が行う。 ・記録は活動計画書の3か月ごとにチェック。
【部門長】 総務部 西岡瑞穂 営業部 坂本 勇太 工事部 西岡 正弘	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される自己及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績 環境目標・実績

主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	80,252	67,000	67,432
廃棄物排出量	t	106.94	58.03	94.48
一般廃棄物排出量	t	0.50	0.45	0.33
産業廃棄物排出量	t	106.44	57.58	94.15
水道水使用量	m ³	129	134	140
化学物質 (PRTR物質)	kg	3,448	1,102	2,431

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311kg-CO2/kWh
 二酸化炭素総排出量はLPGを含む。
 産業廃棄物は混合以外も含む。

環境目標・実績 (当初目標)

項目	年度	基準値	2024年			2025年	2026年
		(基準年)	(目標)	(実績)	達成状況	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量 (CO2換算係数0.311kg-CO2/kWh)	kg-CO2	3,474	3,439	3,710	✕	3,405	3,370
	p10 基準年比	2023年	99%	107%		98%	97%
電力売上 (万円) 原単位評価	kg-CO2 / 万円	0.145	0.144	0.118	○	0.142	0.141
太陽光発電による売電量 (参考)	kg-CO2	4,269	4,312	3,994	✕	4,354	4,397
	p12 基準年比	2023年	101%	94%		102%	103%
自動車燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO2	63,526	62,891	63,722	✕	62,255	61,620
	p12 基準年比	2023年	99%	101%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	67,000	66,330	67,432	✕	65,660	64,990
一般廃棄物	kg	447	425	331	○	420	416
	p13 基準年比	2023年	95%	74%		94%	93%
混合廃棄物	t	58	57	94	✕	57	56
	p13 基準年比	2023年	99%	162%		98%	97%
水道水	m ³	134	133	140	✕	131	130
	p16 基準年比	2023年	99%	104%		98%	97%
水道水 売上 (百万円) 原単位評価	m ³ /百万円	0.56	0.55	0.44	○	0.55	0.54
PRTR物質使用量	kg	1,102	1,102	2,431	✕	1,080	1,069
	p17 基準年比	2023年	100%	221%		98%	98%

※LPG、灯油、廃油は少量のため数値目標を設定しませんが常に省エネに取り組んでいます。
 グリーン購入の推進も目標にしています。
 企業価値向上に関わる目標も設定しています。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

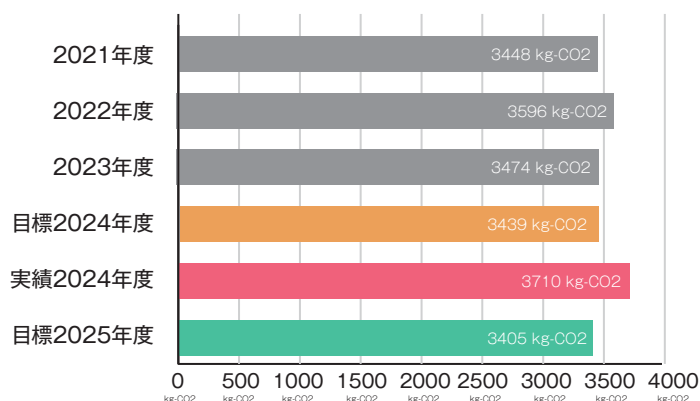


電力による二酸化炭素排出量の削減

太陽光発電と平衡して消費電力量削減

今年度は昨年度に比べ大幅に増えてしまいました。今年の夏は気温が高く、冷房を通年よりも長く使用したことが原因だと考えています。暑くなり熱中症にならない程度に冷房を付けるよう心がけ、社員にも周知させていきたいと考えています。

● 消費電力の推移 (CO2排出係数 0.311)



次年度からは

来年度も太陽光発電に頼りすぎず、待機電力やこまめな不要照明の消灯など再度周知していきたいと思ひます。

今年度は昨年よりも増えてしまったため来年度は熱中症にならない程度により一層削減に取り組んで参りたいと考えております。また、照明の消灯など再度周知させていきたいと思ひます。駐車場付近の花壇への植栽も引き続き取り組んで参ります。

(営業部 小山)

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2023年実績3,474kg-CO2⇒2024年実績3,710kg-CO2 目標99%⇒基準年度比107%	
取 組 計 画	達成状況
・空調温度の適正化 (冷房28℃、暖房20℃) (事務所)	○
・不要照明の消灯 (事務所)	◎
・駐車場の植栽 (事務所)	○

わが社のカーボンニュートラルに向けての取り組み

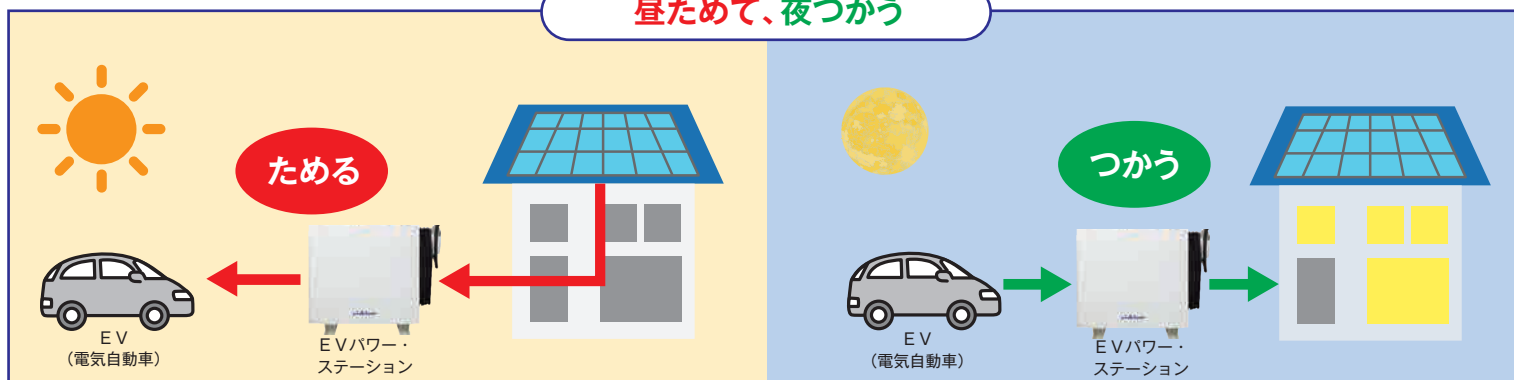
CO2排出ゼロ+BCPを取り入れた電気自動車



日産リーフは走行中のCO2排出ゼロ、ガソリンを全く使わないクリーンな電気自動車です。ガソリン車が排出する排気ガスには、地球温暖化の原因とされている二酸化炭素、光化学スモッグの原因とされている炭化水素や窒素化合物など、さまざまな大気汚染物質が含まれますが、電気自動車は走行中に排気ガスが出ないため空気を汚すことなく、環境を守ることができます。

太陽光で発電した電気がEVパワー・ステーションを経由してリーフに蓄電しています。太陽光という再生可能エネルギーを使用し電気自動車を充電しているため地球環境に優しいエコな自動車となっています。自動車自体に蓄電することが可能のため停電時でも建物に電気を給電できます。昼間の太陽光で十分に蓄電を行っているため約3日間社内の電気をまかなうことができます。

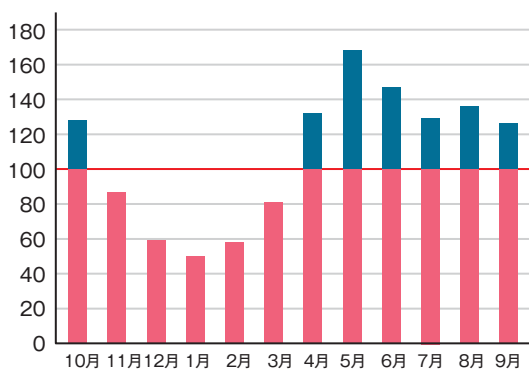
昼ためて、夜つかう



わが社の太陽光発電

社屋の屋根に太陽光パネルが設置してあります。太陽光パネルは枯渇することのない太陽光からエネルギーを取り出すため、限りある資源である化石燃料を使うよりも大きく地球に優しいと言えます。太陽光パネルを設置しているだけで地球環境問題に大きく貢献することができます。これから使用電力をより減らし、全ての月で太陽光発電自給率が100%を超えることを目指します。

● 2024年太陽光発電自給率(%)



太陽光発電の自給率のグラフです。やはり、日照時間が短く暖房を多く使う冬は自給率が下がる傾向が続いています。しかし、春から秋にかけては自給率は100%を超えているため、2050年**カーボンニュートラル**の実現へ向けて力を入れて参ります！



カーボンニュートラルとは？

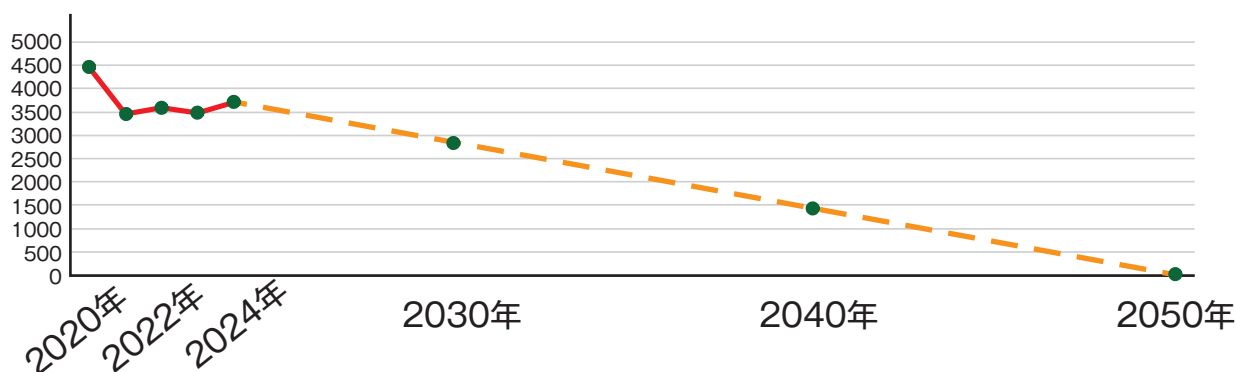
温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

弊社でできるカーボンニュートラルは電力の消費量を減らし、できるだけ太陽光で発電した電気でもかかなくことです。また、ガソリン車ではなく電気自動車を使用することもカーボンニュートラルに貢献できると考えています。



「自社のカーボンニュートラル実現に向けての目標」

弊社でも2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという目標を掲げました。太陽光発電を取り付けた2020年を基準とし、2050年までに目標達成できるように周知させていきたいと考えております。まずは2030年の2/3にするという目標を達成できるように頑張ります。



自動車燃料における二酸化炭素排出量の削減



自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

今年度は昨年度よりガソリンの使用量は減少させることができましたが、軽油の使用量は増加してしまいました。昨年度より大規模工事が多くなったことが原因だと考えられます。ガソリンの使用量は減少していることから、現地調査等での営業車の使用が減少したことがわかります。

次年度からは

軽油の使用量は工事数に左右されるため工事数が増えることで使用量が増えてしまいます。できるだけ忘れ物を無くし、往復しないように心がけていきます。1台に乗れる最大人数が一度に乗り最小限の台数で移動し、エコドライブを心がけた運転を継続させていきます。(工事部 田中)

数値目標：○達成 ×未達成

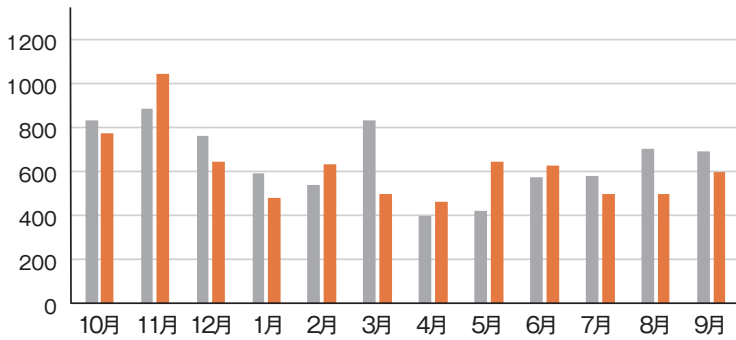
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
2023年実績63,526kg-CO2 ⇒2024年実績63,722kg-CO2 目標99%⇒基準年度比101%	
取組計画	達成状況
・効率的なルートでの移動(現場)	○
・材料、運搬の最小化(現場)	△
・車両の不備点検(現場)	◎
・車の導入時に低燃費車を選択	◎

● ガソリン(ℓ)



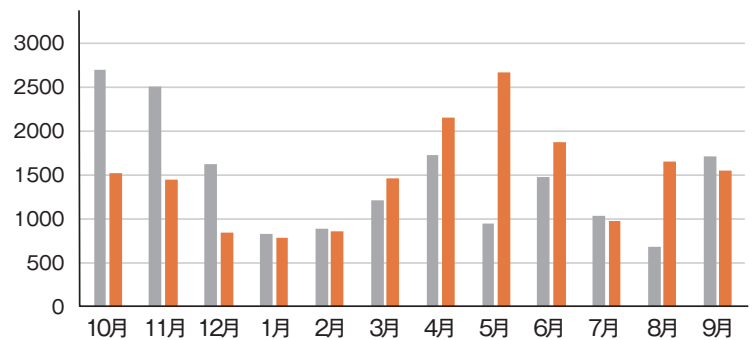
■ : 2023年(基準年度) 合計:7821ℓ ■ : 2024年 合計:7418ℓ



● 軽油(ℓ)



■ : 2023年(基準年度) 合計:17263ℓ ■ : 2024年 合計:17717ℓ



作業環境の改善

下地処理作業の効率化へ

改修工事の際、まず行うのが既存床の撤去作業です。弊社では新型搭乗式の床面剥がし機を導入しています。これまで剥がすのが困難だった既存床(アスファルト、ウレタン等)、塗床(ウレタン、エポキシ等)をスピーディに剥がすことが可能です。機械効率は小型電動機と比較しても10倍以上の差があり、作業時間の短縮、人件費等の経費削減に大きく役立っています。下地処理がきれいに出来れば工事全体の品質向上に繋がります。大規模な改修工事の現場には欠かせない存在です。

- ・ 騎乗式小型軽量コンパクト設計
- ・ バランスが良く安定した操作性
- ・ エレベーターや廊下でも搬入可能
- ・ ウェイトが脱着可能
- ・ プロパンエンジン式



搭乗式貼床材剥がし機『Bronco』

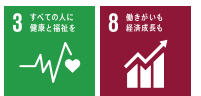


使用した後はコンパクトに収まります。

従来よりもキレイでスピーディーに！

荷役作業の効率化へ

材料や工具の荷役は毎日欠かさない作業です。そのためトラックにパワーゲートを取り付け、作業員の負担を減らすよう改善しました。自動で昇降するので工事部の肉体的負担を軽減すると共に、作業効率が向上しました。また、今まで複数人で行っていた重量の積み降ろしを作業が1人でも行えるので人員が足りない場合も対応可能です。安全に作業するよう十分注意しながら今後も役立てていきます。



廃棄物排出量の削減

一般廃棄物の削減

一般廃棄物の排出量は減少させることができました。ペットボトルの分別や食べ残しをしないように徹底した成果だと考えています。

引き続きペットボトルなどの資源ゴミの分別を正しく行うことを徹底させたいと思います。また、いらぬものを買わない努力やゴミの出にくいものを選択するなど努力していきたいです。

(営業部 小山)

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2023年実績447kg⇒2024年実績331kg 目標99%⇒基準年度比74%	
取 組 計 画	達成状況
・ 分別の徹底(事務所・現場)	○
・ シュレッダー廃紙のリサイクル化(事務所・現場)	◎
・ 帳票見直しによる印刷物の削減(事務所)	○
・ 梱包材の再利用(事務所・現場)	○

混合廃棄物の削減

昨年に比べ混合廃棄物の排出量が大幅に増えてしまいました。多くの廃棄物が出る防水工事が多かったことが原因だと考えています。混合廃棄物は工事量に左右されるため削減が難しいと感じています。

今年も無料広告掲示板で必要とする方に「木製パレット」をお譲りし、その分の廃棄物は削減することができました。

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2023年実績58t ⇒2024年実績94t 目標99%⇒基準年度比162%	
取 組 計 画	達成状況
・ 作業ミスによる廃棄物の削減(現場)	○
・ 分別状態の確認(事務所・現場)	◎
・ ゴミの圧縮(事務所・現場)	○

機密文書の処分

機密文書はヤマト運輸の専用のリサイクルBOXで完全溶解処理したものを100%再生リサイクルしてもらえます。地域に出す古紙と機密文書をしっかりと分けています！

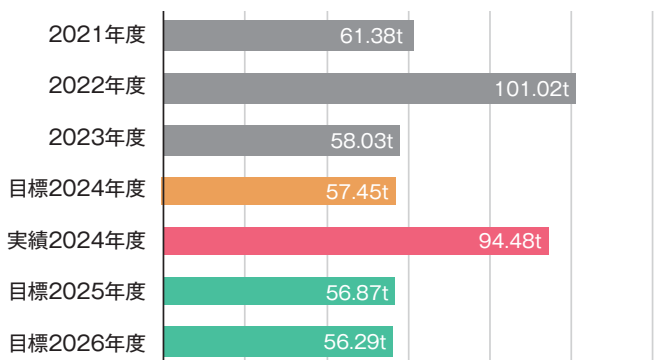


工事廃棄物の処理

現場から持ち帰った既存防水層などの廃棄物は分別した後、残りは廃プラスチックとして処理します。廃材は隙間なく敷き詰めて一度にたくさん引き取ってもらえるようにします！



● 廃棄物の推移(一般廃棄物+混合廃棄物)



私たちが分別のために 継続していること



- ・ つぶせる缶は必ずつぶしてメッシュパレットへ
- ・ つぶせない缶にはテープ類や軍手などゴミを入れないようにしましょう
- ・ 廃缶の中に廃缶を入れている場合、帰社後に取り出してメッシュパレットに入れて分別しよう
- ・ コンテナ(バツカン)は隙間の無いように詰めて入れよう
- ・ 未硬化の樹脂は固めてから処分するか、廃液用のドラム缶へ
- ・ 軍手は持ち帰った後必ず専用の箱に全て入れよう(事務所では選別して洗濯再利用します)

次年度からは

混合廃棄物は工事数に比例するので来年がどうなるのか読めません。引き続き分別の徹底を継続し、混合廃棄物に入れるべきものなのか判断していきたいと思います。また、廃パレットなど再利用できるものは譲渡を行い、リユースに繋がるよう努めます。ゴミは潰し、可能な限りのゴミの縮小を心がけたいと思います。

(工事部 江口)

水道水使用量の削減



長期工事が増えたことで増加

水道水の使用量が前期より、6 m³増加してしまいました。これは昨年より長期の工事が増え、軍手やウエスなどをたくさん使用して洗濯する回数が増えたことが原因かと思われます。

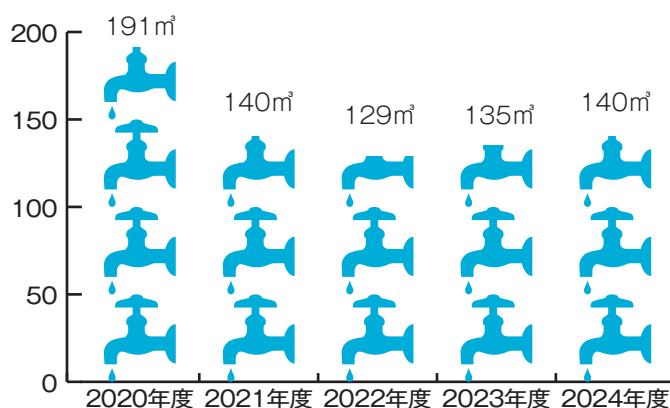
しかし、営業・総務が働いている新社屋では、昨年より水道水の使用量を2 m³減らすことができました。削減できたのは節水トイレ「大」と「小」を使い分けて使用していたことが理由の一つだと考えられるため、今後も引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2023年実績134m ³ ⇒ 2024年実績140m ³ 目標99% ⇒ 基準年度比104%	
取 組 計 画	達成状況
・軍手・ウエスは纏めて洗濯（事務所）	△
・節水シールの貼り付けとポスター掲示（事務所）	◎

水道水使用量の推移



次年度からは

水道の使用量が増加してしまいましたが、長期の工事が増えることは良いことなので軍手やウエスをできるだけ多く洗濯機に入れて洗濯する回数を減らしていきたいと思ひます。

(営業部 前田)

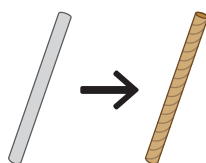
紙ストローへの切り替え



事務所に来られたお客様にお出する飲み物は紙ストローに変更しています。紙ストローの最大のメリットは、処分面で環境に優しいところです。また、紙製にすることでプラスチックの使用量抑制にも繋がりました。

微力ではありますが、少しでも環境負荷をなくしたいので、引き続き紙ストローを使用していきたいと思ひます。

紙ストローに変更しました！



SDGs の見える化

SDGs に関連付けた名札を事務所のいたるところに掲示しています！



使用済み軍手・ウエス置場



喫煙所



2F 洗面所

17 の目標全てに
取り組んでいます！



PRTR物質使用量の削減



施工面積が増えたことで増加

材料の改良により、工事に使用する樹脂の多くがTXフリー（トルエン・キシレンを含まない）のものに切り替わってきています。今まで多くの防水硬化剤に使用されていたMOCA（3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン）についても、PRTR制度・第1種指定化学物質に該当しますが、弊社が使用する防水材「DPワンガード・ゼロ」には含まれておりません。

材料を使用する際、希釈剤として、刷毛・ローラーの洗いなどで使用する場合があります。今期は施工面積が増えたため、増加してしまいました。

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数 値 目 標 と 実 績	達成状況
2023年実績1,102kg ⇒2024年実績2,431kg 目標100%⇒基準年度比221%	
取 組 計 画	達成状況
・有害性物質の表示の徹底・周知（事務所・現場）	○
・代替物質の検討（現場）	○
・作業ミスによる使用量増加の抑制（現場）	○
・容器の蓋の徹底（事務所）	◎

次年度からは

今期は昨年より施工面積が増えたため、PRTR物質の使用量が増えてしまいました。その分危険も増すため、各材料に含まれている化学物質に対する理解を深め、有害なものがある場合は全作業員に周知し、安全な作業環境を心掛けていきたいと思えます。

（工事部 田中）

リスクアセスメント実施中！

2016年6月に労働安全衛生法が改正され、化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。弊社では倉庫に現在保管されている材料のSDSを入手し、さらには材料ラベルに表示されている危険有害性情報、救急措置、取扱い上の注意、保管方法などを新人教育の一環として、まとめてもらい、社内で周知しました。これらのまとめた情報を利用して、今後作業手順を変更する際や、リスクアセスメントを実施して安全施工に努めていきます。

SDSとは？

SDSとは、「安全データシート」のSafety Data Sheetの頭文字をとったもので、事業者が化学物質及び化学物質を含んだ製品を他の事業者へ譲渡・提供する際に交付する化学物質の危険有害性情報を記載した文書のことです。SDSでは、化学製品中に含まれる化学物質の名称や物理化学的性質のほか、危険性、有害性、ばく露した際の応急措置、取扱方法、保管方法、廃棄方法などの有害性のおそれがある物質が記載されます。



環境に配慮した工事の推進

地球環境を考え、人に優しい防水工法・建物に優しい防水工法・地球に優しい防水工法の施工・開発に取り組んでいます。

DP ワンガード・ゼロの使用量

今期の DP ワンガード・ゼロの材料使用量を集計したところ、合計で 32,022kg (1,779 缶) でした。弊社で使用しているウレタン防水材はほとんど環境対応型防水材「DP ワンガード・ゼロ」を採用しているため、来期も屋上駐車場の防水改修工事をたくさん受注し、使用量の向上に努めていければと思います。



地球に優しい施工をします!

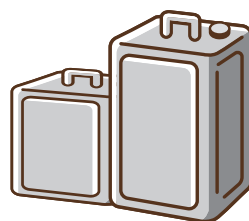


環境対応型防水材「DPワンガード・ゼロ」

DP ワンガード・ゼロとは？

弊社が現在防水工事で一番多く扱っているウレタン防水材です。ウレタン防水材といいますと、以前は“主剤”と“硬化剤”が別々の缶に入れられたものを混合させて使用する 2 液型が一般的でしたが、新環境対応型 1 液型ウレタン塗膜防水材「ワンガード・ゼロ」(ディックブルーフィング株式会社) は 1 缶のみで材料攪拌の必要がありません。攪拌機の電力削減と労力の削減、さらには空き缶の排出量削減(リデュース)につながっております。

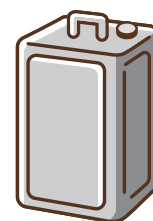
従来の 2 液型ウレタン



65 缶 + 65 缶
130 缶

50%
減量化

1 液型ウレタン



主剤 (6kg) 硬化剤 (12kg)

DP ワンガード・ゼロ

※施工面積 300 m² に 3.0 mm の防水層を施工した場合の使用缶

材料がはがせるラミネート缶

1 液型ウレタン防水材が入れている缶は、内部に特殊なコーティングがなされているラミネート缶です。写真のように缶内部で硬化したウレタン防水材は缶表面に強固に付着することなく、綺麗に剥がし取ることが可能となっております。これにより、これまで潰してリサイクル処理していた缶も、現場でリユース(再利用)して洗い缶、練り缶などとして役立っています。



1 度はがして
リユース

もう 1 度使えば
リサイクル

~ワンガード・ゼロ 環境配慮事項~

- ☑ TX フリー。有機溶剤「トルエン」「キシレン」等を使用していません。
- ☑ 「シックハウス症候群」を引き起こす原因とされる 14 の有害物質を使用していません。
- ☑ ホルムアルデヒド放散等級「F☆☆☆☆」を取得しています。
- ☑ 特定化学物質を含んでいません。
容器廃材の低減(リデュース)



駐車場・ビル屋上・マンションベランダ・屋根・戸建住宅など
防水箇所の用途・状態・仕様に合わせて、最適な施工方法をご提案いたします。

TX フリーで作業環境が改善

特定化学物質はもちろん、有害物質や臭気の発生しない新環境対応型ウレタン「DPワングード・ゼロ」を使用しております。工事の際に作業者や近隣の方がめまい・頭痛等を引き起こすといった心配もなくなりました。居住環境、作業環境、地球環境と全ての環境にやさしい防水材でこれからも環境施工に努めます。



文字入れもお任せください！



施工面積が大きく、長期にわたる工事となりました！

リサイクル製品の骨材を使用した施工

弊社では、リサイクル製品の骨材（エコスター（電気炉酸化水冷スラグ）、クリスタルストーン・サンド）を使用した施工を行っております。

エコスター（電気炉酸化水冷スラグ）とは？

電気炉製鋼所から得られる副産物の酸化スラグを特殊処理加工したリサイクル素材です。スラグを1,500℃前後の溶解状態から加工・破砕分級し、天然骨材にない種々の特徴を持つセラミック骨材（粗・細骨材）となっています。



拡大



色調は艶のある黒色で角ばっていて、粘土、有機不純物、塩分などは含まれておりません。また、耐酸、耐アルカリ性などの特性もあります。



屋上駐車場防水工事

エコスター
散布中!!



エコスター
(電気炉酸化水冷スラグ)

クリスタルストーン・サンドとは？

廃棄物として処分せざるを得なかった廃ガラスやあきびんなどを破砕エッジレス加工したリサイクル素材です。ガラスびんを粉砕してからエッジレス加工を行っているため、素手で握っても痛くないので安心です。



クリスタルストーン・サンド
ミックスグリーン



粉砕するときにビンの色を分けるため
きちんと色目が出ます!!

エコマーク認定

公益財団法人日本環境協会の認定を受けている商品を使用しています。



地球環境に配慮した塗床工事ならお任せください！機能性と意匠性を兼ね備えた、最適な工法をご提案いたします。
一般床をはじめ、耐荷重を要求される倉庫、工場床や駐車場、耐熱水性を要求される厨房床や食品工場、耐薬品性を要求される研究室や化学工場まで、さまざまな用途や要求に対応します

廃棄物とコストの削減

かつてのスクラップ&ビルドの考えではなく、既存建物をメンテナンスしながら永続的に使い続ける「建物の長寿命化」に貢献します。廃棄物とコストの削減に繋がり、サステナビリティに繋がります。

快適な職場環境へ改善

塗床改修で労働災害やヒヤリハットの事象は減らせます。水・油によるスリップ防止に優れた防滑仕上げや薬品に強い耐薬品床など、工場の用途に合わせ、職場の改善をお手伝いいたします。快適な床に生まれ変われば業務効率アップと従業員のモチベーション向上は間違い無しです！

＼ 気になるこんな箇所も対応できます！ /

冷凍庫・冷蔵庫の床

浴室床タイル

倉庫入口側溝廻り

側溝のコンクリートの腐食

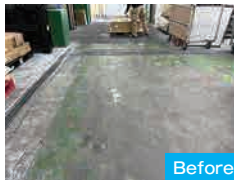
塗床材の種類	特徴	主な適応場所
MMA樹脂系塗床 (デオフロア)	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱水性、耐薬品性、耐荷重性に優れている。 ・施工中の臭気が少ない。 	低温倉庫 駐車場 食品工場 耐荷重
低臭MMA樹脂系塗床 (デオフロア低臭)	<ul style="list-style-type: none"> ・磨耗しにくく、耐久性、耐衝撃性が高い。 ・光沢があり、意匠性に優れている。 	厨房 食品工場 地下室 低温倉庫
硬質ウレタン系塗床 (ウレグロス)	<ul style="list-style-type: none"> ・硬化速度が速く、工期が短い。 ・光沢があり、意匠性に優れている。 	クリーンルーム 研究室 機械工場 印刷工場 事務所
水硬性ウレタン系塗床 (ウレクリート)	<ul style="list-style-type: none"> ・施工中の臭気が少ない。 ・硬化が速く、工期が短い。 	食品工場 厨房 薬品工場 パルプ製紙工場 耐荷重
エポキシ樹脂系塗床 (エピフロア)	<ul style="list-style-type: none"> ・光沢があり、意匠性に優れている。 ・耐薬品性に優れている。 	倉庫 事務所 クリーンルーム 研究室

化学薬品製造工場 塗床改修工事 (水硬性ウレタン系塗床)



耐荷重に優れた床材を使用しているため
フォークリフトの往来が多い場所でも安心して
ご使用いただけます！！

- ✓ ほとんど臭いのない、環境対応塗床材
- ✓ 耐熱水製、耐荷重性が抜群
- ✓ 油、水に強く、耐薬品性、消毒液、抗菌性に優れている
- ✓ 台車やフォークリフトが頻繁に通る床に最適



＼HACCP 対応施工 /

厨房・食品工場の床の環境改善

食品を扱う工場や厨房において、製品の安全を確保する衛生管理の手法として HACCP が 2021 年 6 月に完全義務化となりました。これに伴い、弊社でも塗り床材も安全性・衛生性・耐久性の高い HACCP 対応のものを採用しております。

※HACCP とは食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生する恐れのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析 (Hazard Analysis) し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点 (Critical Control Point) を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法です。

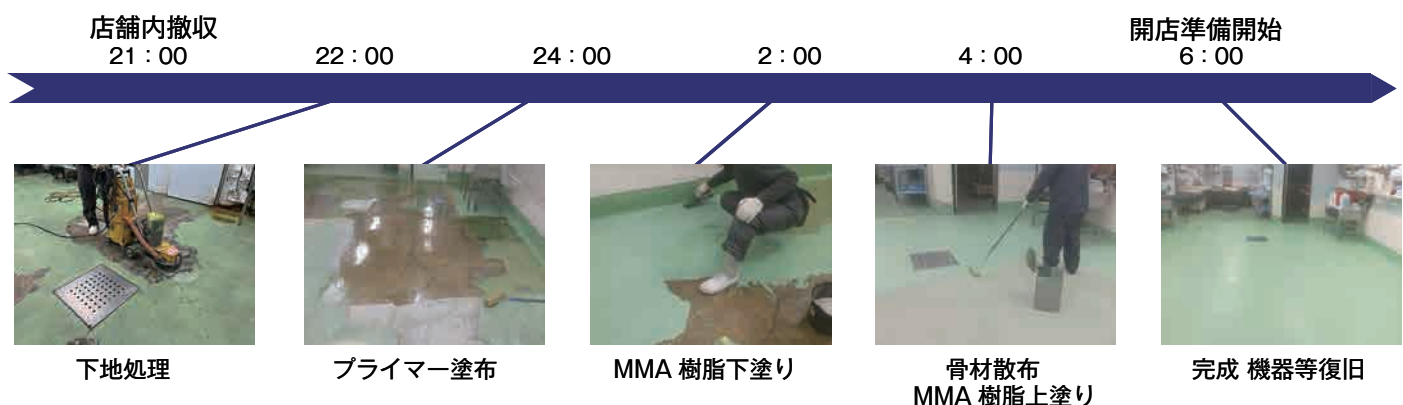
スーパーマーケット 鮮魚作業室 塗床工事 (低臭 MMA 樹脂塗床)



- ✓ 作業開始から 8 時間程度で開放可能 (5℃以上の場合)
- ✓ 食品工場、厨房、低温倉庫、熱水洗浄を行う床に最適
- ✓ 耐熱 80° C まで対応可
- ✓ 施工時における樹脂の臭いがほとんど気になりません

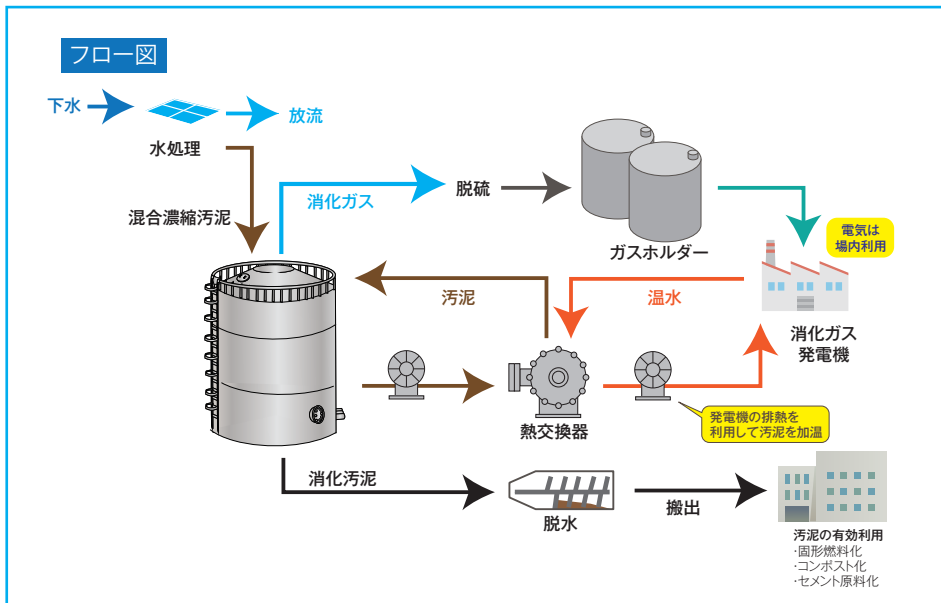
閉店後の夜間工事のタイムスケジュール

＼作業開始から 8 時間で歩行可能!! /



防食工事とは

コンクリートや金属を腐食から守り、蝕みを防ぐ工事です。強い酸性の液体を使うメッキ工場のピット、化学工場のタンクや床、廃液槽、食品工場や下水処理施設の曝気槽など特殊合成樹脂仕様による耐酸・耐食工事の設計責任施工をいたしております。硫酸や硝酸、フッ化水素酸などの強酸に対応した重防食層の施工や、日本下水道事業団仕様の防食塗装も施工可能です。



下水処理場向け鋼板製消化槽のはたらきです。

消化槽は下水処理時に出た汚泥の減量と安全性を高めることを目的とした設備です。分解が終わり安定した汚泥は消化工程前に比べ50~60%程度に減量されており、脱水・焼却しやすい性質に変質しています。また、汚泥は肥料や土壌改良材として利用が可能となります。消化槽は、汚泥処理の効率化と環境負荷の低減に重要な役割を果たしています。

実際の施工の様子

鋼板製タンク内面防食工事の施工実績は5件にもなりました。初めは九州地方の施工が多かったですが、関西での施工も増えてきました。2024年12月から兵庫東流域下水汚泥広域処理場汚泥処理施設改築工事で鋼板製タンク内面防食工事を行います。日本最大規模の消化槽のため大変大きな工事となりますが、今回も頑張ってまいりたいと思います。

鋼板製タンク内面防食工事の施工実績

- 2021年 8月 熊本市中部浄化センター
- 2022年 10月 佐賀市下水浄化センター
- 2023年 10月 神戸市(株)コベック食品廃棄物メタン発酵槽
- 2024年 1月 久留米市中央浄化センター浄化タンク
- 2024年 8月 福知山市終末処理場鋼板製消化槽

今後の鋼板製タンク内面防食工事の施工予定

- 2025年 尼崎市、湖南市、仙台市、伊丹市
- 2026年 北海道



日本全国施工を承っております!



- : 施工済
- : 施工予定



大型タンク内での施工の様子

2023年に株式会社神鋼環境ソリューションより佐賀市下水浄化センター鋼板製消化槽防食塗装工事において安全表彰「優秀賞」をいただきました。



西岡化建では、鋼板製大型タンク以外でも防食FRPライニングの施工をしています。

防食工事の主な施工例をご紹介します。

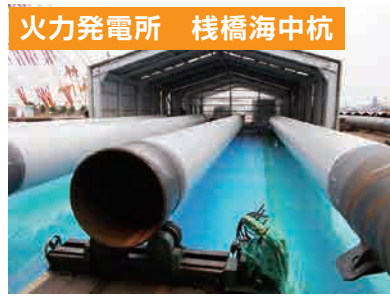
酸やアルカリを使用する工場はもちろん複雑な形のトラックの荷台も施工可能です。



防液堤



高架水槽



火力発電所 棧橋海中杭



廃棄物処理工場 防食床



大型貯水槽



トラック荷台内面

過去の防食工事の施工事例

金属リサイクル工場 防液堤



Before



After

防液堤とは ?

防液堤は外部に液が漏れ出ることを防止する役割をはたします。化学工場や石油化学プラント薬品製造工場等で見られる安全設備の1つです。漏れ出た有害な液体が外部環境へ漏出するのを防ぐために設置します。



下地調整材 塗布



ガラスマット 貼付



ロービングクロス 貼付



塩酸、過酸化水素、水酸化ナトリウムを使用するためそれぞれに対応した工法で施工を行いました。



トップコート 塗布



トップコート2回目 塗布

耐食FRPの特長

- ・耐食性が優れる
- ・経済的
- ・メンテナンスフリー (維持費軽減)
- ・形成品が軽量
- ・形成が工場あるいは現場で可能
- ・形成が容易で大型の製品も形成可能
- ・重量に対する強度が大きい
- ・形成品がある程度の透明性を有す

廃棄物の分別方法



金属類の廃材を有価物に

工事によって発生した金属系の撤去廃材については、有価物として売却を行っております。今期は1年間に362,382円の売却益が発生しました。金属売却益は、会社で行う行事の際に全額を社員に還元することが決定しており、社員の分別に対する意識、モチベーションの向上につながっております。

3Rと5S活動



工事現場では道具が散乱していると作業スペースが狭くなるだけでなく、思わぬ事故に繋がりがかねないので建設業の5S活動は欠かせません。また、倉庫では必要なものがすぐに見つかるように整理整頓を心がけているので、早朝の荷物積み込みの効率が上がり、忘れ物も減っています。

さらに、現場から持ち帰った廃棄物はリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）に繋がるよう細かな分別を徹底しています。工事の際、特に改修工事で発生する既存防水材や塗床材は剥がした後リサイクル出来ないのが今後の課題です。

事務所においては毎週金曜日、全社員で社内や近隣の清掃を行っています。毎週行うことで社内のチームワークと清潔が保たれています。

またこの数年は事務作業の効率アップに向けて「情報の5S」も欠かせません。忙しいと後回しになりがちなデータ整理ですが日頃から継続して取り組んでいくことが大切と考えています。



社会貢献

創業時から日本赤十字社への寄付



いただいた賞状は社内に飾っています

弊社創業時の1975年から毎年欠かさず日本赤十字社への寄付活動を行っております。2017年には表彰状をいただきました。日本赤十字社は災害時の被災者救護や感染症拡大防止への対応、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、いのちを救うさまざまな活動をされています。今後も国際的な災害や紛争、病気や貧困などに苦しむ人々を救うため、世界最大のネットワークで、緊急時の救援や復興支援、予防活動に協力していきます。

はるかひまわり絆プロジェクト 災害や命の尊さについて考える



きれいな花を咲かせました！

平成7年1月17日、阪神・淡路大震災が神戸を襲いました。被災した加藤はるかさんの家のあとに咲き誇ったひまわりの花の種は「はるかひまわり」と名付けられて全国へ配布活動が続けられています。そんな種が縁あって弊社の元に届いたので今年から庭で植えています。被災者と災害の備えを考えるきっかけづくりとして、毎年ひまわりの花を綺麗に咲かせて、次の誰かに繋ぎたいと考えています。

リサイクル

金属類（鉄くず・アルミ）

メッシュバレットに分別



スクラップ業者へ持ち込み有価物として売却



材料一斗缶



空缶が確認して折り畳む。リサイクル可能な缶はリサイクル業者へ



缶・ビン・ペットボトル



茨木市の規定に沿った分別で資源ごみへ

古紙・ダンボール

紐でまとめて倉庫保管



月1回、地域の子ども会へリサイクル活動協力



昨年度からリサイクル製品の骨材を使用した施工をしています。詳しくは17ページで紹介しています。

古紙回収で地域子ども会への活動協力

古紙、ダンボールは分別を行い、毎月地域の子ども会に協力しています。地域の小学校が開催する「ふるさと祭り」への協賛寄付、会社の周りの雑草手入れや荒れた竹藪を整備するボランティアも行っております。

今後も少しでも近隣住民の方々のためになるよう、地域で行なっている資源ごみの回収や清掃活動などには積極的に参加していきます。

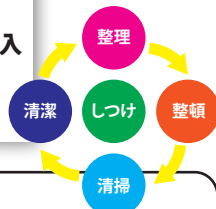
既存防水層・砂・くず类等
当社ではリサイクル不可な産業廃棄物



廃棄物処分業者に収集依頼。
細かく選別して適正処理して最終処分
 manifests を発行してもらいます。

リ
デ
ユ
ース

- ・紙の使用にこだわらず、書類は電子化へ
- ・事務所の消耗品は詰め替え容器商品を購入
- ・マイバッグやマイボトルの使用



事務所で洗濯しています

樹脂材料を取扱うので、ベッタリに付着してしまうと今まで使い捨て感覚で廃棄することがありました。ですが、一つひとつを仕分けすると洗濯すれば再使用できるものも多くあることが分かり、現在は事務所で半分以上を洗濯をして再使用しています。次の人が気持ちよく使用することができ、リユースだけでなく、リデュース（発生抑制）に貢献することができました。

エコアクション21のおかげで出来た繋がり

これまで処分方法に悩んでいましたが、この環境経営レポート発行をきっかけにパレットを必要とする業者様との繋がりが出来ました。ありがたいことに今期発生した廃パレットは全て引き取っていただき、物流や運送に再利用されています。

軍手・ウエス

廃棄と再使用と事務所で分類



洗濯して再使用



木製パレット

材料が納品される際の荷役台



必要とする方を募集してお譲りしています



工事現場・倉庫の5S活動



- ・工具や材料は整理整頓を徹底。
- ・倉庫や置き場の通路ははみ出し厳禁。
- ・工事現場は清潔を保ち、品質の向上。

D.I.Y.

木製パレットの活用事例 \大切に使っていただきありがとうございます!/\

さらに、近隣にお住まいの方にも木製廃パレットをおしゃれにDIYして楽しんでいただいています。廃材予定のパレットを新たな形で活用していただき、弊社としても3Rにも貢献できて嬉しく思います。

畑の見晴らし台



畑の空きスペースに遊び場として見晴らし台を設置。子どもたちが楽しんでいるようです。



廃材と端材だけで物置を作ったため、材料費ゼロ円とのこと。すごい力作です!

ゼロ円倉庫



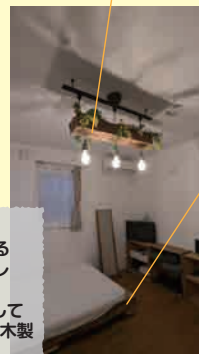
ウッドデッキ



おしゃれなペンダントライトで吊り下げている照明ボックスは木製パレットで作ったそうです。ベッドの下にすのことして敷いているのも弊社の木製パレットです。

照明器具

すのこベッド



折り鶴ノートプロジェクトの協賛

広島平和記念公園に贈られる1000万羽を超える折り鶴を再生し、学習ノートとして世界各国の子どもたちに無償配布する Orizuru Notebook Project の活動に協賛しています。折り鶴が形を変え、子どもたちに活用されることで、平和を考えるきっかけとなればという思いから立ち上げられました。

弊社としても国境を越えて、世界の多くの子どもたちが折り鶴ノートを手にして、世界の人々が折り鶴に託した平和への思いや願いを共有し、継承してくれることを願っています。



外国人の雇用

外国人技能実習生



弊社は外国人技能実習生の受け入れ企業として2007年から継続して取り組んでいます。これまで受け入れてきた技能実習生は累計25名にも上ります。現在雇用しているのは中国人4名、ベトナム人3名です。今年は中国人4名が建築塗装作業随時2級を受けました。無事全員合格しましたので、あと5年は日本で働くことが出来ます。弊社としてもとても嬉しく思っております。言語の壁や日本の文化に慣れないこともあると思いますが、意欲的に現場では活躍してくれています。今年の夏は異常な暑さだったということもあり、社員寮に部屋ごとにクーラーを設置するなど弊社でも快適に働いてもらえるようサポートをしています。



よりよい職場環境を目指して

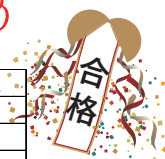
資格取得推奨制度で社員をサポート



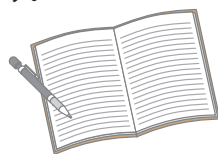
弊社では、社員が資格取得にチャレンジしやすいよう、手厚くサポートしています。試験に関わるテキスト代、受験料、交通費等は全額会社が負担し、資格取得による業務への貢献度や難易度を考慮し、合格時には報奨金を支給しています。さらに毎月資格手当として給与にも付与しています。今期は右表の資格を取得できました。資格保有者の存在や資格取得を目指す向上心とモチベーションを持った社員は財産です。今後も向上心を持った社員を応援していきます。



資格取得おめでとう!!



2級防水施工技能士（ウレタンゴム系）	1名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	4名
高所作業車運転技能講習	1名
玉掛け技能講習	1名
酸素欠乏・硫化水素危険作業従事者	1名
有機溶剤取扱業務従事者	1名
粉じん作業（作業従事者）	5名
フルハーネス型墜落制止用器具使用従事者	2名
自由研削といしの取替え等業務特別教育	2名
化学物質管理者講習	5名
職長・安全衛生責任者教育	1名
1級建設業計理士	1名
ショウゼット工業会（防食専門技術者）	2名



マッスルフロア工業会の技術検討会開催



マッスルフロア工業会の技術検討会が開催されました。今年の大阪会場は弊社事務所内で行われました。倉庫では新製品の材料を実際に塗布したり、会議室ではリスクアセスメントについての座学も受講し、充実した技術検討会となりました。実際に材料に触れて感じる事が出来たので塗り心地や塗料の粘度等がよく分かりました。今後も材料の研究と技術を向上させ、より良い工事を提供出来るよう努めてまいります。



実際に材料を塗布しました！



とてもきれいに塗れています。



リスクアセスメントについての座学

健康と環境保全

血圧計・体重計の導入と分煙の取組み



従業員の健康は企業の健康につながります。会社の健康診断は年に一度ありますが、それだけでは健康の維持は難しいので、事務所に血圧計と体重計を設置しています。

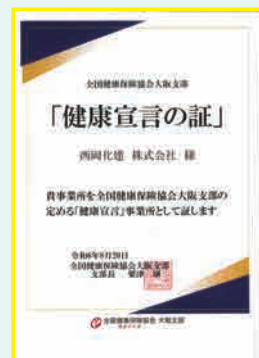
また社員の健康維持のため、分煙環境の整備も整えています。非喫煙者がたばこの煙を吸い込む“受動喫煙”を防ぐために事務所横に喫煙室を設置しています。喫煙者も非喫煙者も快適な職場環境づくりを目指しこれからも取り組みます。

過去に仕事に倒れた社員がいたことから、会社周辺の AED 設置場所の地図を作成し、社員に周知しています。皆の見えるところに地図を貼ることにより、緊急事態でも対応できればと考えています。



健康宣言

健康優良経営法人の取得に向けて健康宣言を行いました。事業所全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、生産性の向上や魅力的な職場へと繋げて参ります。



熱中症対策も行っています！

毎年夏場(6月～9月)は厳しい猛暑となりますが、防水工事は屋上など炎天下での作業です。屋内での作業でもエアコンがつかない現場がほとんどなので、いつも熱中症の危険と隣り合わせです。

今年は殺人級の暑さが続いたため、危険な状態での工事が多くなりました。そこで全従業員が熱中症にならないようにさまざまな対策を講じております。

現場 での対策

- ✓ クーラーボックスで冷やした水を準備
- ✓ 塩分タブレット補給
- ✓ こまめな休憩と声かけ
- ✓ ネックガードの装着(ヘルメット取付用)
- ✓ メッシュ製ベストの着用

事務所 での対策

- ✓ 朝礼で全員の体調を確認
- ✓ 室温をこまめに確認
- ✓ こまめな休憩と声かけ
- ✓ 塩分タブレット補給

Topics



夏に失いやすい塩分やミネラルを補給してもらうために梅ジュースを社員に配布しています。梅ジュースは会長・専務の手作りで梅ジュースに使用した梅は梅干しに作り変えて梅を再利用しています。

誰もが働きやすい職場環境作りへ

弊社では一昨年から初めて女性社員が産前産後休暇・育児休暇制度を1名、取得しました。育児や介護など、ライフステージに合わせた働き方ができるよう、時短勤務制度を整備しました。育児休業後の職場復帰できる環境づくりを整え、今後も年齢や男女問わず全従業員が仕事と家庭が両立できるようサポートしてまいります。まだ女性社員しか取得していませんが男性社員も取得可能なため、どんどん男性社員も取得してほしいと考えています。そのためにも作業の標準化やルールをさらに明確化させ、1人に負荷がかかりすぎないようにワークシェアリングを行い、仕事を分担する意識を定着させていこうと考えています。



毎年展示会に出展しています！

弊社では、毎年展示会に出展しています。今期は、信金合同マッチングフェア、企業展、勤業展、中信ビジネスマッチングフェア、きたしんビジネスマッチングフェアの計5回出展しました。今年は大阪だけでなく、京都の展示会にも出展しました。展示会で施工のご依頼をいただくことも多いため、今後も継続して出展していきたいと思っております。

信用金庫合同ビジネスマッチングフェア

企業展

今期は展示会に5回
出展しました！！



所属工業会の写真コンペで最優秀賞を受賞しました！

一般社団法人ディックブルーフィング工業会、第二十回写真コンペで「最優秀賞」を受賞しました。

こちらは特定化学物質はもちろん、有害物質や臭気の発生しない新環境対応型ウレタンを使用しているため、環境に優しいことが特徴です。



琵琶湖文化館 大屋根防水改修工事



写真コンペ「最優秀賞」表彰状



施工前



プライマー塗布



クロス貼付



ウレタン防水材料塗布

ホームページをリニューアルしました！

2024年3月21日にホームページのリニューアルを実施いたしました。新たに施工事例のページを作成し、防水工事、塗床工事、防食工事などのカテゴリでも検索が可能となりました。

これからも、皆様に有益な情報やコンテンツの拡充に努めてまいります。



トップページ



施工事例の紹介

環境上の緊急事態への準備及び対応



防災への取り組み

2024年7月 緊急事態対応訓練実施

災害発生時に迅速に行動し、生命の保全を図れるよう、毎年防災訓練を行っています。今年は火災の発生を想定して、避難訓練と消火訓練を行いました。



ポケットマニュアルと防災ハンドブックを配布しました！



防災対応ポケットマニュアルを改定しました！

旧

日頃の準備
防災アイテム
救急時の対応

西園化建株式会社 2024年6月発行

家族への連絡方法
会社への連絡方法
緊急時パーソナルメモ

新

防災アイテム
救急時の対応

災害に備えよう！
防災対応ポケットマニュアル

西園化建株式会社
2024年7月改定

改定箇所

- 災害伝言板サービスの情報更新
- 防災アイテムの追加 など...

環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	摘要される事項（施設・物質・事業活動）
消防法	各種溶剤の保管
化学物質排出把握管理促進法	各種溶剤の使用（報告義務対象外）
騒音規制法	該当なし
振動規制法	該当なし
廃棄物処理法	一般廃棄物（事務所から出る紙くず、繊維くず、木くず、生ゴミ等） 産業廃棄物（工事に伴う金属類、廃プラ類、廃油、紙くず、木くず等）
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める。
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機
その他・顧客要求事項	・現場の営業中の施工配慮。一週間ごとの分割施工等。 ・材料の搬入搬出の時間制限 ・施工中に扱う化学物質の臭気対策。 ・工期厳守

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、これまでありませんでした。

生物多様性の保全活動 ～NISHIOKA FARM～

新鮮な無農薬野菜を配ることで社員の健康促進へ

西岡化建では、会長、専務が管理している畑で無農薬野菜を育てています。最近、野菜が高騰し野菜を摂る機会が少なくなった社員や、いそがしくてカップラーメンやコンビニのお弁当で済ませる社員が多く健康面の心配がありました。収穫後みんなに配るようになってからはまったく野菜を採らない社員がゼロになりました。

今年は、スナップエンドウ、トマト、茄子、ゴーヤ、キュウリ、ブロッコリー、ダイコン、かぶ、小松菜などたくさんの野菜を収穫することができました。有機肥料による無農薬栽培なので身体も良いため、社員の方々にはたいへん喜んでいただいています。

NISHIOKA FARM



かぶとダイコンはみずみずしく甘味があり社員から人気です！



人型のダイコンもありました！

レモンの苗木も植えてありました！育つのが楽しみです！

Herb

西岡化建では、パセリ、バジル、パクチーなどのハーブを育てています。



今年からパクチーも育てはじめました!!



緑化活動 花の育成と植樹祭への参加



大阪府中小企業家同友会 環境経営部会 緑化活動第14回植樹祭 2024年3月30日(土)
場所:大阪中央環状線 高架下「命の輝き共生の森」

大阪の市街地を貫く大阪府道中央環状線の高架下「命の輝き共生の森」において森づくりを実施しています。植樹祭に参加するのも14年目になりました。

この緑化活動では、毎年約50本の樹木を植えてきました。今年は、榎の木、コナラの木、ブナの木など、約30本の樹木を新たに植樹しました。

今後も大きく成長してくれることを願っています！



中小企業家の会員だけではなく、会員の家族や子どもたちも参加してくれました！



過去に緑化活動で植えた桜や稲田桃の木は美しく花を咲かせていました！



植樹祭終了後に椎茸狩りを行いました！

全員で協力しながら植樹活動をしました！



土をしっかりと掘ってから植樹しました！



植えた木にプレートを取り付けました！



植樹後はワラを敷き詰めて固定しました！

Flower

西岡化建では、ひまわり、ミモザ、ヒメウツギ、ボタン、モッコウバラ、麦わらラベンダーなどさまざまなお花を育てています。育てたお花などは生けて社内や店舗に飾っています。



社内が明るくなって気分も上がります！



アマリロゴールド



ボタン



モッコウバラ

2030 ゴールに向けた SDGs17 目標達成の進捗度に憂慮

弊社の環境活動は、所属する大阪府中小企業家同友会環境経営部会が、2004年から部会に活動の基礎をおきエコアクション21の認定取得をするための講座を開校したころから拡がりました。エコアクション21の認定は2011年に受け、2015年からはエコアクション21をSDGsに絡めた活動をしております。それまでの意識としては、ニュースで報道されていた1997年京都議定書の採択報道や、弊社会長の西岡勝男が所属したライオンズクラブでの地球環境保全活動にあり、未来を見ると地球温暖化に対する憂慮すべき事柄が報じられ、活動の意義を感じていました。

私は所属団体の広報部で活動をしておりまして、機関誌に啓発するための環境に関する記事を書きながら、詳しいところ、正確なデータはどこから取得したらよいか分からない状態でした。国際連合の発信するCO2発生削減に関するデータが国連広報（東京）ホームページに記載されていることを知り、現状はどこまで進んでいるのか、SDGs17の目標の進捗率に関する記事を読みました。憂慮すべきは削減目標になかなか近づけず、2030目標ゴールに対して17%の進捗であるということです。会社内部で実行しやすい4、5、7の目標は努力の成果が見られます。地球レベルで考えること、また世界の人々への活動は微々たる成果であり、逆戻りもあります。続けるしかないことを進捗率データにより知りました。なお一層の努力をいたします。

ヒートアップの夏の影響は、秋口からすぐにゲリラ豪雨、洪水、激甚災害へとつづく

2024年は日本中、ヨーロッパにおいてもゲリラ豪雨にみまわれ、大きな洪水が発生しました。一方アフリカ、南米では乾燥が続き、食糧危機を起しております。1月の能登半島地震に続く9月の豪雨災害では災害に対する復興支援の困窮が伝えられ、これからもいつ起こるとも限らない災害に対する備えの大切さを改めて考えました。BCP事業継続計画の策定には至っておりますが、毎年それを練り直すことと、続いて挑戦すべきレジリエンス認証には至っておりません。

防火訓練は定期的に行っていますが、社員全員の防火知識の学習と、とっさの判断に対する確認についてはもう少し回数を重ね、それぞれが自分のものにできるよう、指導をしていかねばならないと思っております。弊社のCO2削減量について今年度は少し戻ってしまいました。社員各部門からの意見を収集して今以上の方法と綿密な努力を重ねるための意思疎通を図っていきたいと思っております。

事業を通じて、地球環境保全へと繋がる工事を提供、環境対応に力を尽くす

弊社が業務内容としている防水・防食工事、ライニング工事については、地球環境保全の役割を担うものがたくさんあります。屋上、外壁、バルコニーなどの防水工事において表面に塗装する材料には遮熱効果を有した塗料を使うことを提案しています。屋根裏の室温はそれで3～4°C低くなることがデータで出され、エアコン使用量の節約に繋がります。また建物の防水工事、外壁改修は経年劣化していく建物の長命化を促し、廃棄、建て替えをセーブし資源を無駄にしない環境対応の工事です。

工場の塗床工事に関しては、耐久性、耐荷重性を持ち、性能性に優れると共に、そこで働く人への安全性を確保するHACCP対応の材料使用を提案し低臭性、微生物汚染等の危害を免れ、衛生管理が出来ます。

今年度もバイオマス発電の設備には鉄部防食工事を提供してきました。2021年熊本市、2022年佐賀市、2023年神戸市、2024年久留米市、2024年福知山市の工事を完成し、2025年にかけて尼崎市で設置します。環境工事の施工例で紹介したように、メタンガス発酵槽の鋼板製ドーム内の防食工事をしています。汚水槽から発酵したメタンガスはバイオマス発電の消化ガス燃料となり、水分は海に流せるレベルの浄化がされ、海へ流します。固形物は有機肥料コンポスト化及びセメント原料化されます。このようにこれまでの下水処理に変えて再生可能エネルギーを捻出する下水処理場を全国に作ろうとするエネルギーシフトの一役を担った設備の完成に誇らしい思いをしています。



環境管理責任者 専務取締役 西岡 洋子

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月25日

今年度については、自動車の二酸化炭素排出量、産業廃棄物やPRTR物質使用量などの指標については、前年度に比べ、達成状況が悪い結果となっています。これらの指標は、経営成績と環境目標が反比例の関係となってしまう、仕事量、つまりは売上が高ければ増えるほど、達成状況が悪化するものであります。今年度は売上が上昇した反面、これらの環境目標の達成状況が悪くなってしまいました。この事象については評価基準に若干問題があり、改善すべきであると思います。売上に連動しない指標や実績値の評価方法を検討していく必要があります。

今年度の取り組みで評価できるところは、ホームページのリニューアルや展示会、SNSなどでの発信により、弊社の環境活動を外部に発信する機会が増えたことです。取引先からも、長年地道に続けている環境エコアクションの活動が評価され、会社としての信用度が上がりました。他者から評価されることで、環境担当者のモチベーションも上がり、社内での環境活動の啓蒙にもつながります。外部への発信の重要性を感じました。この環境経営レポートを社外・社内でのコミュニケーションツールとし、より多くの人に発信していきたいと思えます。

エコアクション活動を始めてから今年で13年がたち、社屋のZEB化、労働環境の改善、環境負荷の少ない材料選定、リサイクル・リデュースと日々環境活動に取り組んでまいりましたが、継続することの難しさや新しく環境活動に取り組むことの難しさを感じています。社員とともに、環境保全に対するモチベーションを高めながら、少しずつでも出来ることを続け、持続可能な環境経営活動に邁進してまいります。

代表取締役社長 西岡 若菜

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

化学で変わる 建設の未来
Chemistry and Construction

 西岡化建株式会社

2024年度
環境経営レポート

最後までご覧いただき
ありがとうございました！

防水 まもるくん



塗床 麗子さん



カケンくん



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



防水工事 防食工事 塗床工事 塗装工事
左官工事 屋根工事 内装仕上工事

 **西岡化建株式会社**

〒567-0072

大阪府茨木市郡5丁目21番17号

TEL:072-643-1125 FAX:072-643-1127

E-mail:info@nishiokakaken.com

URL:https://nishiokakaken.com